

就寝前の一回の使用で有効な新しいプロゲステロン 膣坐薬 P500mg の使い方

プロゲステロン膣坐薬は体外受精の際に広く使用されています。膣壁から吸収された高濃度のプロゲステロンが直接子宮へ運ばれ、妊娠率を高める効果があります。医師の指示に従い、採卵日あるいはその翌日から、凍結融解胚移植の場合は子宮内膜が十分に厚くなった日から使用を開始し、妊娠反応が陽性になった場合は妊娠を継続させるために、その後、しばらく使用を続けます。プロゲステロン坐薬は注射と異なり通院の必要もなく安心して使用できます。

用法 - 用量

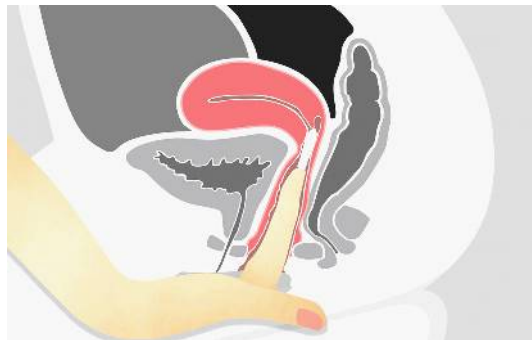
新しいプロゲステロン坐薬 P500mg は就寝前 1 回使用します。反復挿入が必要な坐薬と比較し、患者様の満足度の高い製剤です。ご不明な点がございましたら、主治医にご遠慮なくお聞き下さい。

使用上の注意

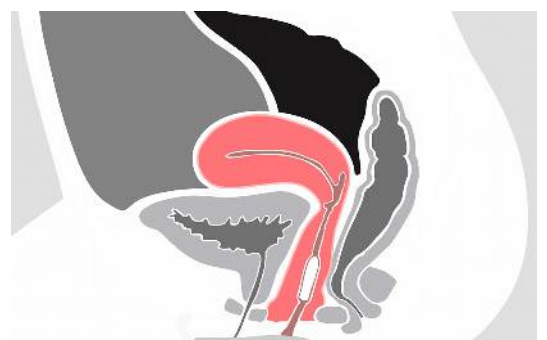
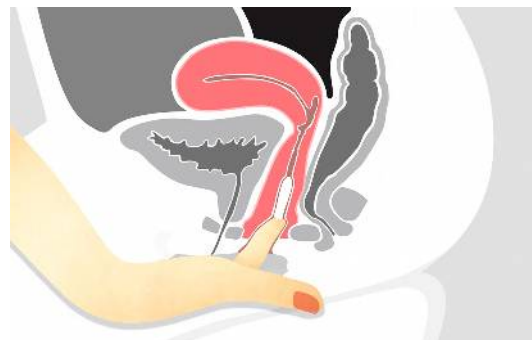
1. 手をきれいに洗い、坐薬を包装より取り出し、図のような立て膝の姿勢をとって下さい。患者さまの好みによって上向きに寝た状態で坐薬を挿入しても結構です。



2. 坐薬を人差し指で膣内へできるだけ深く挿入して下さい。膣内の深い位置に挿入された場合は、坐薬が飛び出したり、溶解した坐薬が流れ出すことを回避することもできます。坐薬には十分な量のプロゲステロンが含まれていますので、多少流れだしても有効性は変わりません。挿入時に多少ざらざらした感じがすることがありますが有効性は変わりません。



3. 深く挿入することができない場合は、坐薬が飛び出したり、溶解した坐薬が流れ出すことがありますが、新しい 1 回使用の坐薬では不快に感ずることは殆どありません。



注：指を直接膣内へ挿入することに抵抗を感じる場合は、小さなビニール袋を手袋代わりに使用しても結構です。坐薬の品質を保つため冷蔵庫に保管して下さい。